



国際連合大学高等研究所  
いしかわ・かなざわ  
オペレーティングユニット  
所長  
あん・まくどなるどさん



国際連合大学副学長  
武内 和彦さん

っています。  
**市長** 私たちが誇るべき文化をアピールし、消費者には、そういう文化のもので生きものを愛する人たちが作った米だと認識され、認証米とともに佐渡米は売れはじめました。農業遺産は結果として出てきたものですが、これからどう使うかは皆さんの考え次第です。この評価を使って新しいものをつくっていきましょうということを、皆さんに提案しています。  
**武内** 今までの価値観を変え、本来持っていたあるべき地域の価値というものに気付きはじめて、その価値を伸ばしていきましょうという方向に皆さんが歩き出そうとしておられる。そのことが評価されたと思います。  
**あん** ジアスは農業者をはじめ地域住民の皆さんが主役です。行政は支援者



日本雁を保護する会  
会長 呉地 正行さん

ジアスを推進していくうえで住民たちがより良い活動ができるためには、どういう政策がすでにあるのか、どういふ新たな政策づくりが必要になってくるのか、目指すところにたどり着くためには政策がそれをどう支援できるのかと、考えていかなければならないのではないかと思います。  
**呉地** 生物多様性が大事であるといわれませんが、もっと大事なものは、人間の多様性を高めることです。いろんな人たちが入り込めるような空気づくりをすると、そういうものが結果として魅力的な運動につながっていきます。

**松田** 文化は、そこに暮らす人々の生活様式であり、芸能や祭りは、佐渡のパロメーター（指標）だと思っています。ジアスは農業だけではなく、佐渡の資源、私たちの文化、生活様式が世界に認められたのだと思っています。ジアスは、佐渡に暮らす人々がこれから地域で豊かに暮らせるための手段であってこればと思います。  
**市長** 今回認められたことの一環大事なこと、農業だけではなく自分たちの住んでいる地域に誇りをもてるように認めてもらったことです。佐渡、だから残せるコミュニティが評価されたの



高野市長



NPO法人佐渡芸能伝承機構  
理事長 松田 祐樹さん

だと思っています。自分たちの地域を磨き上げるとともに、いろいろな価値あるものを、美しい景観とともに、磨いていく。手をかけて価値あるものを送り出していく喜びを共有していきたいと思っています。  
**あん** 佐渡と能登が、今後いろいろな活動をともにできるようになれたら、日本におけるジアスがもっと強くなつて世界に発信できる幅が変わっていくのではないかなと思います。交流のもとで力をあわせ、新たな力が生まれてくると思います。  
**武内** 佐渡では認証米の農家の数も増えており、前向きにこれからの農林水産業を考えておられると思います。ぜひジアスを踏み台にして、もうちょっと高いレベルで新しい佐渡の将来につなげていただけるといいのではないかなと思います。

**原** 今回のジアス登録は、佐渡のジアス物語のスタートではないかなと思います。皆さんがジアスを認識して、新たなスタートを切られることを期待したいと思います。

\*\*\*\*\*

佐渡の豊かな自然環境の中で働き、学び、生活することに価値があるという文化を市民全員で共有するとともに、そのような価値観に基づいた佐渡づくりがジアスを活用して一体的に発展していくことを、佐渡市では目指しています。

世界に認められた佐渡の農業や歴史・文化、佐渡だから残せた景観をいつまでも守れる取組みを進め、人もトキも共生できる、生きものが豊かな環境づくりに市民総出で取り組む必要があります。

そして、ジアスは過去のものではなく未来のものです。ジアスを活用して新しい佐渡をつくるという意識が、佐渡に住む皆さん一人ひとりに芽生えることを期待しています。

取材にご協力いただきました皆さん、大変ありがとうございました。

◆市役所農林水産課 生物多様性推進室  
(第2庁舎) ☎63-3761